

目指せ! 管理栄養士

今年も実りがいっぱい! 1泊2日の新入生合宿研修!

大学生活がさらに楽しくなる、
深い交流のひとつとき。

今年も行ってきました! 健康に関するグループ討論や、先輩からのアドバイス、地元ならではの体験学習など、まさに内容もりだくさんの合宿研修。「学生同士の交流」「新しい環境で抱きがちな不安や疑問の解消」などの目的に向けた取り組みです。新入生の皆さんは、深い交流のひとつときを経て、本当の意味での大学生活をスタートさせました。

体験学習

越前和紙の里のパピルス館で、
紙漉き体験にチャレンジ!!



わたしも
参加
しました!



健康栄養学科1年
竹田 汐里 (仁愛女子高校出身)

討論が盛り上がり始めると、それぞれの個性が出てくるんです。単に一緒にいるだけよりも深く交流できた気がします。また、先輩の言葉を通して、あらためて健康栄養学科での学びの意味や価値を深く見つめることができました。



健康栄養学科1年
田中 亜依 (金沢錦丘高校出身)

本学科では、普段A・Bクラスに分かれて学ぶことが多く交わる機会が少ないので、今回交流する機会が得られて嬉しかったです。新しい友達ができました。石川出身の私としては、地元の伝統工芸に触れられたのも興味深かったです。

こんなに
求められて
います。

データでみる
健康栄養学科

管理栄養士
合格率

98.4%

本学卒業生(新卒) 受験者61名 / 合格者60名
※平成27年5月8日合格発表



就職率

100%

平成26年度卒業生
※就職率=就職者数÷就職希望者数×100

紙上で
開講!

臨床栄養学実習Ⅱ

的確な栄養評価をするために、実際の医療現場で使われる測定器を使って身長や体重などを測ります。

実際に測定器を使って、
栄養状態を評価する。

●今回の講義

「身体計測」

ひとり一人に合わせた正しい栄養管理を行うために必要な栄養アセスメントの基礎を学びます。栄養アセスメントとは、身体計測や臨床検査などのデータに基づいた栄養評価です。今回は、病院や介護老人保健施設で実際に用いられている様々な計測機器を使いながら、栄養状態の評価・判定のスキルを身につけます。

「臨床栄養学実習」
で学ぶこと山本浩範
教授

患者さんは、年齢・性別・活動量、そして今の健康状態によって必要な栄養素が異なります。それらを適切に考慮して必要な栄養素を評価していくのが管理栄養士に求められる役割です。ただし、そこには数字やデータばかりを見るのではなく、患者さんの身になった対応が必要です。測定器具を実際に使用することも、「身になる」ための学びなのです。

様々な方向から栄養アセスメントを
行っていきます。臨床栄養学実習Ⅱでは、身長・体重の他、脂肪厚や尿、
血圧などさまざまなデータを測定。栄養評価につなげて
いきます。

寝たきりの人には、寝たままでかかとから膝までの長さを測定し、その数値を基準に身長や体重を推定します。



測定器で計測された呼吸量から、安静時に消費しているエネルギーを算定します。

先輩から伝えたい、この授業の魅力!

病院での実習で
活きるはず。

初めて扱う機器もあったので、難しかったです。3年次のカリキュラムには病院での実習もあり、そこでは測定器の使用方法についての学びが活きてくるのではないかと思います。

健康栄養学科3年 中村武司 (富山北部高校出身)

数字の背景まで
認識できる。

健康な人の体温や心拍数などの平均値は知っておく必要のある数値です。実際に機器を使って計測することで数値の背景まで理解でき、実感すると共に身につきます。

健康栄養学科3年 森 美侑季 (敦賀高校出身)

それは、
管理栄養士の使命。

数値を用いて栄養アセスメントするのは大変でしたが、頑張って評価しました。患者さんの日常生活をより良くできる管理栄養士を目指して、さらに努力を重ねたいです。

健康栄養学科3年 山田麻由 (仁愛女子高校出身)